

阿波和紙で収納箱

デザイン重視 山文が新ブランド



高級張り箱製造・販売の山文(吉野川市)は、「ペーパーストレージカンパニー」を立ち上げ

山文の新ブランド「ペーパーストレージカンパニー」(同社提供)

た。地場産業の「阿波和紙」の魅力を国内外に幅広く発信しようとの狙いで、11月から販売を始める。

「ペーパーストレージカンパニー」は、生活雑貨の企画・販売を手掛けるグローバルフォルムコミュニケーション(東京)がデザインを担当。第1弾の「トラベルシリーズ」は欧州の町並みや乗り物などをイメージしたもので、阿波和紙を使った書類入れや小物入れなどを展開。「殺風景なデスクに旅情を感じさせる商品」(山文)になっている。価格はトレーのサイズ840円から。

山文は、贈答用菓子箱

などに使われる張り箱に強みを持っており、新ブランドは雑貨店など新市場開拓を目指して企画。海外展開も視野に入れて

いて、来年1月にパリで開かれるインテリア見本市にも出展予定という。同社では「阿波和紙と張り箱の新たな可能性を

切り開いていければ」としている。問い合わせは〈電0883(42)2234〉。(廣井和也)